

ガイアグループ 41期CSR報告書

(2024年6月～2025年5月)



CSR方針

■CSR方針

当社の企業理念である「地域と共に」「お客様のために」「親切の心で」をモットーに、ガイアグループ全社員一人ひとりが、当社の行動規範に則り高い倫理観を持ち、ひとつひとつの問題に対して真摯に取り組む。それが、将来に亘り継続的に社会的責任を果たす『サステナブル企業』としての大切な役割であると考えております。

とりわけ私たちは、地域住民の一員として地域の皆様一人ひとりのお声に耳を傾け、率先して地域を支える企業であり続けたいと願っております。

また、CSRを通してステークホルダーの皆様とより良い関係を目指します。



■SDGsへの賛同

今後も、「地域社会に愛され必要とされるアミューズメント企業」を目指すべく、良き企業市民としての行動に努め、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献できるよう、社会課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

当社では以下の4つの目標を重要取り込み項目としております。





社会と共に

■日本赤十字社 活動支援



わたしたちは日本赤十字社の
活動を支援しています。

当社は、日本赤十字の使命である「わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。」に賛同し、2016年より日本赤十字社へ活動支援としての寄付を始めました。

活動支援金は、国内外の災害救護活動、社会福祉、血液事業、救急法の講習、赤十字病院の運営などに活用されています。

40期は、献血活動など、多岐にわたる取り組みに対し、参加協力しました。

■献血サポーター

当社は、「献血サポーター」として、日本赤十字社の献血推進活動を応援しています。献血サポーターとは、医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力する企業・団体のことをいいます。

主な取り組みとして、店舗では年1回、本社では年2回、献血活動に参加しています。



■ACTION! 防災・減災プロジェクト

本プロジェクトは、未来に目を向けた「防災・減災への備え」を働きかけ、日本全体で防災意識を高めるムーブメントを起こす取り組みです。

当社は、日本赤十字社の活動支援のため、プロジェクトパートナーとして賛同・参加を行いました。

店舗・本社ともにポスターを掲示し、防災に対する意識付けを促しました。



ACTION! 防災・減災

——— 命のために今うごく ———

救うを託されている。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



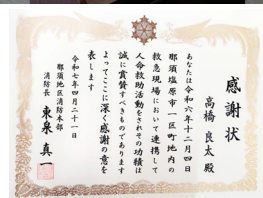
■AED設置／普通救命講習の受講促進

当社は、ご来店いただくお客様や地域住民の皆様の安心のため、全店舗にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。そして、緊急時には正しい対処を行えるよう、店舗従業員に救命講習の受講を促し、店舗責任者には受講を義務付けています。

この活動により、昨年12月には当社店舗の隣接施設の方が倒れた際、店長が店内に設置してあったAEDを携行して現場へ駆けつけ、心肺停止状態の男性に対し、直ちに胸骨圧迫を行い、救急隊員に引き継がれるまで心肺蘇生を継続し、到着時には男性の意識・呼吸・脈が回復し、尊い命が救われました。

なお、この行動に対し、那須地区消防組合は「迅速、的確、勇気ある対応により救命の連鎖が実現された」として、高く評価し、感謝状を授与しました。

本社においても継続的な受講機会の確保に取り組んでおり、今後も全社での救命対応力の維持・向上に努めてまいります。



■車内放置未然防止活動

子どもの車内放置は児童虐待（ネグレクト）にあたる行為です。

当社は駐車場などで子どもを車内に放置するのを防ぐために巡回活動を強化しております。

41期は2件の車内放置事案を早期に発見し、いずれも保護に至りました。両件ともアルバイト社員が発見しており、車内放置に対する意識が全従業員へ浸透してきています。

今期も当社駐車場における死亡事故はゼロを継続しており、今後も地域とお子さまの安全を守る活動に取り組んでまいります。





社会福祉法人 中央共同募金会 活動支援

当社は、2014年より47都道府県共同募金会の連合会である「中央共同募金会」に対し、活動支援のための寄付を継続しています。

活動支援金は、障がい者の共同作業所の車両整備、社会福祉施設の改修、高齢者サロンの運営、点訳ボランティアなど、さまざまな民間の地域福祉活動に活用されています。



赤い羽根共同募金

2023年10月1日から12月31日を募金運動強化期間とし、全国の店舗にて募金活動を実施しました。また、2020年1月には全社員が利用できるWeb募金を開設しました。地域社会に貢献できるよう、今後も募金活動を行っていきます。

お菓子の寄付

当社は全店舗に「お気持ち箱」を設置しています。お客様のご厚意で集められたお菓子は、店舗所在地の近隣にある福祉施設様へのお持ち込みや、東京都社会福祉協議会東京善意銀行様のご協力のもと、定期的に全国の福祉施設へお届けしています。

41期は、145施設へ320箱のお菓子を寄贈しました。



清掃活動

埼玉県内で営業している店舗を「地域清掃気軽に登録制度」に登録しました。

この活動は、地域の環境を美しく保ち、暮らしに快適さや豊かさを図るもので埼玉県が主導しています。





社会と共に

■依存問題に対する姿勢

当社は、パチンコ・パチスロで余暇を楽しんでいただくアミューズメント企業として広く社会から受容されるためにも、のめり込みによる依存問題に関して、お客様の自己責任に帰することなく真摯に向き合っております。また、依存問題の解決に向けて活動を行っている団体への支援を、今後も積極的に行ってまいります。

全日遊連からお客様へ

パチンコ・パチスロは
適度に楽しむ遊びです。



■社内の取り組み

安心パチンコ・パチスロアドバイザーの育成、社員研修での教育、アルバイトスタッフへの周知・教育に力を入れています。また、企業HPやチラシなどへの啓発標語の掲載、お客様へ向けた啓発ポスターの掲示など、お客様や社会への情報発信に努め、依存問題の解決へ取り組む団体への活動支援も行っています。



■安心パチンコ・パチスロアドバイザー

アドバイザー制度は、お客様に対して依存問題への適切な案内ができる担当者を各店舗に配置するもので、行政などが求めるパチンコ・パチスロ依存問題への対応強化策の取り組みです。当社は、1店舗あたり3名以上のアドバイザーを配置しております。



■自己申告プログラム

「自己申告プログラム」とは、利用ご希望のお客様ご自身で、1日の遊技の使用金額を申告していただき、設定値に達した場合に、その旨をお知らせして、お金の使いすぎを防ぎ、安全・安心遊技を系統的に担保する仕組みです。



■自己診断チェックツール

DSM-5の診断基準をパチンコ・パチスロ用に当てはめた「自己診断チェックツール」を店舗に設置しています。短時間で回答いただけるよう8つの設問で構成されており、診断の結果、ご不安な点がある方には専門の相談機関をご紹介します。



■認定NPO法人 リカバリーサポート・ネットワーク 活動支援



■認定NPO法人 ワンダーポート 活動支援

「認定NPO法人ワンダーポート」は、日本初のギャンブルに関して問題を抱えている人のための回復支援施設です。ギャンブル依存の原因は、個々の生活や生き方の中にあると考え、医療機関に解決方法を求めるのではなく、「暮らし・仕事・余暇」の使い方を包括的な視点で見つめ直し、個別的な生活支援を行っている団体です。





従業員と共に

ダイバーシティ推進の方針

社員のキャリア志向とワーク・ライフ・バランスを共に尊重できる就業環境を整え、企業の更なる発展を目指す

2013年にダイバーシティ推進プロジェクト（現：ダイバーシティ推進委員会）を設立し、多様性を尊重しながら、一人ひとりが活躍できる組織作りを行っています。

■キャリア支援／ワーク・ライフ・バランス支援



全社員に無料の
e-ラーニングサービスを提供。



主に若手社員が対象。
上長もしくは、有資格者が実施。



年2回の考課時期に、
今後のキャリア志向を
確認する面談を実施。



取得者の事例を
社内広報誌にて全社へ周知。
リーフレットの全店配布。



公的制度、
社内制度の紹介セミナーの実施。
リーフレットの全店配布。



上位職が率先して
取得している様子を
社内広報誌にて紹介。

■女性活躍推進



下記から働き方を選べます。
【1】通常勤務（母性健康管理措置の範囲内）
【2】事務専門勤務



下記から働き方を選べます。
【1】通常勤務 【2】事務中心勤務
【3】本社管理部門への異動



上長および、
人事部の担当者による
メンタルケア面談の実施。



中学校入学まで。
2時間/日まで短縮可能。
時差勤務制度との併用可能。



妊娠判明時には、
職場の理解を深めるため
該当者の上長にも配付。



2013年より実施。

■障がい者雇用

当社では2008年より「障がい者の職能と適性に応じた職場づくり」に取り組み続け、障がい者スタッフが安心して長く働き続けられる職場環境や仕組みの整備に努めています。店舗では駐車場の巡回や駐輪場の整理及び清掃業務を行っています。





環境対策

■Fun to Share

当社は環境省が取り組んでいる低炭素社会に向けたキャンペーン「Fun to Share」に賛同し企業登録をしています。地球温暖化の一因とされている二酸化炭素の排出を削減するため、他企業と情報やアイデアをシェアしながら節電などに取り組んでいます。



■COOL BIZ／WARM BIZ

クールビズ期間中、エアコンの設定温度は28度を目安とし、社員・アルバイトスタッフとともに軽装で勤務しています。ウォームビズ期間中は、加湿器やサーキュレーターによる空気循環などを行い暖房に頼りすぎず、冬を暖かく快適に勤務する工夫を行っています。



従業員啓発用ポスター(抜粋)

ウォームビズ豆知識

ちょっとした工夫で実現できる“室温20℃”の知恵

部屋の温度を調節するちょっとした工夫

暖かい空気を
循環させる

まずは部屋に
温度計を!!

暖房のON/OFFの
タイミングを考える

湿度15%UPで
体感温度が1℃上昇

カラダを暖めるちょっとした工夫

ランチは
体をあたためる
食材を選ぶ

あったかい飲み物で
ココロもボカボカ

デスクでできる
血行促進体操

冷えと戦ってきた
女性の知恵から学ぶ
毛足の長い座布団

■電気使用時間の管理

店舗では、遊技機・店内設備・エアコン・照明の電源を入れる時間、切る時間をマニュアル化しています。時間設定については全店共通ではなく、運営状況に合わせて1店舗ずつ異なる設定で運用することにより、効果的な使用電力削減に努めています。



■太陽光発電

当社の一部店舗では、持続可能なエネルギーの活用に取り組んでいます。店舗駐車場には風力発電機を設置し、屋根には太陽光発電機を導入するなど、再生可能エネルギーの効果的な利用を図っています。これにより、地球温暖化の抑制や環境保護に貢献すると同時に、持続可能な電力供給を実現しています。



